

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	放課後等デイサービスいろはⅢ			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	16人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○活動プログラムの充実 手先を使う活動、身体を動かす活動、季節の工作、外出、クッキング等、幅広い活動プログラムを実施している。	週ごとにプログラムの目的を設定し、毎日プログラムを行う職員を変えることにより、様々なプログラムを実施できるようにしている。また、土曜日は平日にはできないクッキングやお出かけ等のプログラムを行っている。	引き続き、曜日や季節ごとに異なるプログラムをチームで立案し、より充実したプログラムを提供していく。様々な活動を提供し、子ども達のやってみようを引き出していく。
2	○活気のある、明るい雰囲気 職員やお子様の元気な明るい声が飛び交っていることで、安心して自分を表現できる環境。	職員同士のコミュニケーションを大切にし、困ったことはすぐに相談し合える環境を意識している。物事の良いところに目を向け、“ありがとう”が伝え合える関係性を築けるよう努めている。	職員が率先して活動等を楽しみ、お子様を巻き込みながら、お子様と笑顔の共有が出来るよう支援していく。お子様が「楽しい」と思える活動を提供するだけでなく、前向きな雰囲気や声掛けも大切にしていく。
3	○相談等がしやすい環境 細やかな親御様への情報共有により、気兼ねなく話ができる関係性を構築できるよう努めている。	お子様の成長が見られた時や気付いたことは、都度親御様と共有している。また利用の変更、追加等にも柔軟に対応している。	引き続き、お子様の様子を支援後や翌日の朝礼時に共有していく。常に親御様の立場になって考えることを忘れずに、親御様からあがってきた相談事や悩み事については、必要に応じて会議を開く等しながら全職員で共有し、助言や支援をしていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の他の子どもと活動する機会が少ない	日中は学校に通っており、午後からの来所になる為、事業所内の活動を優先させている。また、土曜日は地域の公園や図書館、公共交通機関を利用しているが、同年代のお子様と交流する機会が少ない。	引き続き、公園や図書館、公共交通機関等は積極的に利用していく。今後は児童館に行く等、同年代のお子様と交流できる機会を作っていく。
2	○保護者様同士で交流できる機会が少ない	保護者様同士が交流できる機会が少ない。また親御様やきょうだいが参加できるイベントがない。	引き続き、保護者交流会や保護者参観を開催し、親御様が交流できる機会を提供していく。また、親御様やきょうだいが参加できるイベントも検討していく。
3	○親御様への訓練等の発信力の弱さ	各種マニュアルを策定し、定期的な訓練を実施しているが、親御様への周知徹底ができていない。発信力、アピール力に欠けている。	連絡帳や通信、HPのブログを通して発信しているが、掲示物として目に見える形で発信する方法も取り入れていく。